

一般質問

議長・副議長及び監査委員は、その職務の性質上、一般質問を行っていません。

- 二次元コード 市議会ホームページ上の各議員の質問動画へアクセスできます。
- マーカー部分 用語解説や写真・イラストを掲載しています。

障がいのある児童・生徒の支援 通常学級における体制づくりを



原 ゆき (立憲ネット緑たちかわ)

問 「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が改正され、令和5年4月から教育活動を行う事業者においても教育に関する合理的配慮を行うことが義務になります。どんな障がいがあっても通常学級における個々の学びが保障できるよう、特別支援としてのサポートが必要な場合に専任の支援員を配置することや見守りが必要な児童・生徒のための支援員を拡充することなど、体制づくりの確立が必要と考えますが、見解は。

答 各学校において通常の学級に所属する障害のある児童・生徒に対しても、個に応じた教育を行うために合理的な配慮を行う必要があると認識しています。そのため、学校規模に応じて**学校支援員**を配置し、活用状況等により調整を図って追加配置をしています。引き続き研修等を実施していくとともに、教育委員会としても、学校支援員の適切な配置、児童・生徒の状況に応じた支援等による各学校の体制づくり、教師の専門性向上に努めていきます。

一般質問項目 ①多様性を認め合う学校教育にむけて ②もっと！出産・子育てしやすいまち立川へ ③若葉町まちづくりのこれから

体育施設のあり方 子どもが思いきり遊べる環境を



伊藤 大輔 (たちかわ自民党・安進会)

問 子どもたちがボール遊びを含めて思いきり遊べる環境づくりには、我々の努力が必要です。昨年、「立川市体育施設のあり方」の案が公表されました。今後このあり方に基づき取り組みを進めていくこととなりますが、子どもたちが思いきり遊べる環境づくりにどのように繋がっていくのでしょうか。陸上競技場については、今後改修工事に向けた取り組みを進めるとのことですが、どのような陸上競技場を目指していくのか、見解を伺います。

答 体育施設の今後の方向性を示して、持続可能な体育施設の整備に向けて取り組むことは、子どもたちが思いきり遊び回れる環境を確保することに繋がると考えています。陸上競技場については、サッカー等を含め、より多くの市民が多目的にスポーツを楽しめる機能を持たせ、多くの子どもたちが思いきり体を動かしたり、高齢者が健康のために競技場を訪れたりするなど、多様な世代が交流できる拠点として市民に親しまれる施設を目指していきます。

一般質問項目 ①子どもが思いきり遊べる環境づくりとスポーツ振興

発達に心配のある子どもの支援 保護者への丁寧な説明を



伊藤 幸秀 (公明党)

問 発達に心配のある子どもの支援に関して、小学校1年生時の**学校支援員**の配置期間が短いのではないか、人数が足りないのではないか、などの指摘を現場からいただきます。この点について見解を伺います。また、**特別支援教室**「キラリ」、「プラス」の通いの期間について、1年間あるいは2年間の延長があるとのことですが、適正な期間と考えていますか。これらは相談の段階では保護者側に周知されていない部分なので、丁寧な説明をお願いします。

答 学校支援員は、年度当初に配分した予算で、各学校が計画的に配置しています。また、2学期途中に各学校の活用状況や増配置の希望を確認し、必要な追加配置をしています。特別支援教室は、都が定める原則の指導期間を踏まえ対応しますが、必要な場合は1年間の延長ができます。その後、特別支援教室入退室審査会が適切と判断した場合は、再度の利用が可能です。指導延長を適切に運用するとともに、保護者への丁寧な説明に努めていきます。

一般質問項目 ①立川市は何故ゼロカーボンシティを宣言しないのか ②立川市の事業系一般廃棄物(燃えるごみ)の処理 ③消防団の報酬 ④「発達に心配」のある子どもの支援 ⑤道路の課題

学校支援員 児童・生徒の生活指導補助、補習などにおける学習支援補助を行う市の非常勤職員。教員免許は必須ではないが、学校教育に理解があることを前提としている。



特別支援教室の様子

学校図書館 読書に親しめる環境づくりを



瀬 順弘 (公明党)

問 国は学校の学級数に基づき、学校図書館の蔵書数の標準を定めていますが、本市の学校はこの標準を満たしていますか。また、今後の学級数増加に対し、蔵書を増やしていく必要がありますが対応は。児童・生徒が読書に親しむためには、読書に対する興味関心を引き起こし、読書する力を育み、習慣化を図ることが必要であるため、専門職員の配置も重要です。司書役割を担う学校図書館支援指導員を増強し、読書環境を充実していただきたいが、見解は。

答 現在、4校で蔵書数が学校図書館図書標準を下回っています。令和5年度は、小学校第4学年が35人学級に移行することや、特別支援学級等の学級数が増加することに伴い、図書の購入費を増額して対応します。司書的な役割の体制強化については、学校図書館の利用や読書活動の充実に向けて、学校図書館支援指導員や市立図書館とともに取り組んでいます。司書的な役割の常勤体制は、費用対効果を含め、可能性を探っていきたく考えています。

一般質問項目 ①市営住宅について ②マンションの適正管理について ③学校教育について

入札契約制度改革 市内事業者の育成も必要



江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)

問 今年は、市職員が逮捕された水道工事をめぐる不正入札事件から20年の節目の年です。事件を契機に、コンプライアンス体制の強化と指名競争入札から一般競争入札への移行等入札契約制度改革が進められました。しかし、改革とともに、地元企業を応援していくことも必要と考えますが、見解を伺います。また、入札参加要件が市内本店となる工事の予定価格は、基準を設定してから大幅に物価が上昇しています。見直すべきと考えますが、見解を。

答 事件後に策定した公共調達基本方針では、平等な競争機会の確保を図るとともに、厳正かつ公平に行うことを大原則としています。一方で地域経済に寄与している市内事業者の育成や受注機会の確保も必要と考えており、事業者向け講習会や事業者代表との意見交換会、優秀工事事業者表彰等を実施しています。入札参加の地域要件を市内本店とする場合の予定価格は、景気の動向や市内事業者の受注状況等を勘案し、必要に応じて見直していきます。

一般質問項目 ①入札制度改革の取り組みと契約事務について ②子育てと仕事の両立支援について ③公共施設・市営住宅について ④立川シティハーフマラソンについて

PFASによる水質汚染 率先して市が対策をとるべき



永元 香子 (日本共産党)

問 多摩地域で水道水に利用する井戸水から発がん性が疑われるPFASが検出され、浄水施設では34か所の水源井戸からの取水が停止されました。米軍基地の中でPFASが含まれる泡消火剤が使われてきたことが分かっており、汚染源として米軍基地の関連も疑われています。市民の不安が高まっており、この状況について見解を伺います。海外では飲料水のPFASの基準改定の動きがありますが、市としては今後どのような対策を考えていますか。

答 PFASは一部の国で目標値等が設定されているものの、安全性に関する評価が定まっておらず、各国で値が異なります。国は、令和5年1月から専門家会議を開催し、目標値を検討しています。市では、毎年19か所の井戸について水質調査を実施していますが、PFASは基準値が定まっていないため調査項目に入っていません。PFASが検出された市内の井戸については、都が継続調査を行っており、今後も都の報告や国の動きを注視していきます。

一般質問項目 ①PFASについて ②地域猫について ③子ども達の放課後を充実させるために